

IEEE802.11n/a/b/g 準拠 無線 LAN アクセスポイント(親局) FXA2000

オープン価格



製品の価格・仕様・色・デザインは、予告なしに変更することがあります。

特長

■ IEEE802.11n/a/b/g の 4 規格準拠

5GHz 帯(IEEE802.11n/a)では 19ch(W52/W53/W56*1)、2.4GHz 帯の IEEE802.11n/g では 1~13ch、11b では 1~14ch から選択でき、電波干渉を考慮した柔軟な無線ネットワーク設計が可能です。また、 IEEE802.11n 規格のデュアルチャネル(40MHz 幅利用)にも対応しています。

*1 W52: 36, 40, 44, 48ch, W53: 52, 56, 60, 64ch, W56: 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch

■ 設置環境や美観を考慮した軽量コンパクト設計

PoE 給電への対応や筐体内にアンテナを内蔵するなど設置環境や美観を考慮した設計です。また、添付のマグネットやタッピングネジなどにより、多彩な設置環境でご使用いただけます。

■ さまざまな電源環境に対応

AC アダプタ(別売)、5~30VDC の直流電源や PoE 給電を使用した LAN(UTP)ケーブルによる電源供給に対応しています。

■ アクセスポイント(親局)とステーション(子局)が切り替え可能

モード切り替えにより、アクセスポイント(親局)だけでなくステーション(子局)にも設定可能で有線 LAN 機器の無線 LAN コンバータとして使用できます。

■ WPA2/WPA や WEP と併用可能な独自暗号化技術 WSL を搭載

高度なセキュリティ規格 WPA2/WPA や IEEE802.1X 認証に加え、 MAC アドレスフィルタリング、ESSID 隠しに対応しています。また、WPA2/WPA と併用できる独自暗号化技術 WSL も搭載しています。

■ VLAN、仮想 AP 機能など多彩な機能を搭載

VLAN 機能や 1 台の AP に仮想的な複数の AP として動作させ、異なるセキュリティ設定が行える仮想 AP 機能を搭載しています。また、イベントログを大容量(従来品比 7 倍 : 15,000 件程度)保存可能です。

■ iPhone / iPad / Android スマートフォン/タブレット端末で動作確認済

iPad / iPhone、スマートフォンやタブレット PC などの Wi-Fi 端末との無線 LAN 通信、IEEE802.1X 認証で動作確認済。本機だけでなく、Wi-Fi 端末や RADIUS サーバの設定方法もわかりやすく解説した資料を当社 Web サイトで公開しています。

■ コネクタ部を保護するカバー やセキュリティワイヤー取り付け機構を装備

添付のコネクタカバーによりコネクタ部の保護やセキュリティスロットにセキュリティワイヤーを取り付けることで、盗難を防止することができます。

本製品は、無線 LAN 標準規格の IEEE802.11n/a/b/g に準拠し、ワイド入力電源(5 - 30VDC)や PoE に対応した無線 LAN アクセスポイントです。軽量でコンパクトな設計で、添付のマグネットやタッピングネジなどでスマートに設置できます。アクセスポイント(親局)としてだけでなく、ステーション(子局)として設定可能です。有線 LAN 機器の無線 LAN コンバータとして使用できます。また、コネクタ部を保護するカバー や盗難防止のセキュリティスロットを装備しています。

仕様

項目	仕様
ユニットタイプ	アクセスポイント/ステーション
有線 LAN 部	
イーサネット規格	IEEE802.3(10BASE-T)、IEEE802.3u(100BASE-TX)、IEEE802.3af
データ転送速度／通信方式／ポート数	10/100Mbps／半二重(Half Duplex)、全二重(Full Duplex)／1ポート
無線 LAN 部	
対応規格	IEEE802.11n, IEEE802.11a, IEEE802.11b, IEEE802.11g
IEEE802.11n	
チャネル	5GHz 帯 : 19ch(36, 40, 44, 48ch[W52], 52, 56, 60, 64ch[W53], 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch[W56]) 2.4GHz 帯 : 13ch(1 - 13)
データ転送速度 *1	300 - 6.5Mbps(MCS0 - 15, Short/Long GI)(固定/自動)
IEEE802.11a	
チャネル	19ch(36, 40, 44, 48ch[W52], 52, 56, 60, 64ch[W53], 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch[W56])
データ転送速度 *1	54, 48, 36, 24, 18, 12, 9, 6Mbps(固定/自動)
IEEE802.11b	
チャネル	14ch (1 - 14)
データ転送速度 *1	11, 5.5, 2, 1Mbps(固定/自動)
IEEE802.11g	
チャネル	13ch (1 - 13)
データ転送速度 *1	54, 48, 36, 24, 18, 12, 9, 6Mbps(固定/自動)
セキュリティ	
IEEE802.11n	WPA(AES), WPA2(AES), WPA-PSK(AES), WPA2-PSK(AES), WSL(上記暗号と併用可)
IEEE802.11a/b/g	WEP(open/ Shared Key/Auto), WPA(AES, TKIP), WPA-PSK(AES, TKIP), WPA2(AES, TKIP), WPA2-PSK(AES, TKIP), IEEE802.1X(EAP-TLS, PEAP), WSL(上記暗号と併用可)
アンテナ	チップアンテナ(内蔵)×2 MIMO
外形寸法(mm)	本体のみ : 136.2(W)×100.0(D)×31.0(H) 電源ケーブル抜け防止フック含む コネクタカバー装着時 : 170.0(W)×100.0(D)×31.0(H)
質量	250g(本体のみ)、270g(コネクタカバー装着時)

*1 無線 LAN 規格の理論値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

本体設置環境条件(環境仕様)

項目	仕様
入力電圧範囲	5VDC±5% (DC ジャック)、5 - 30VDC±5% (電源コネクタ)、36 - 57VDC (PoE)
定格入力電流	1.05A (5VDC 入力時), 0.19A (30VDC 入力時) (Max.) 0.15A (PoE 給電 48V 時)
使用周囲温度	0 - 40°C
使用周囲湿度	10 - 90%RH (ただし、結露しないこと)
浮遊粉塵	特にひどくないこと
腐食性ガス	ないこと
許容瞬時停電時間	17ms 以内 (100VAC@25°C)、低電圧検出時、自動的にリセットを行う

商品構成

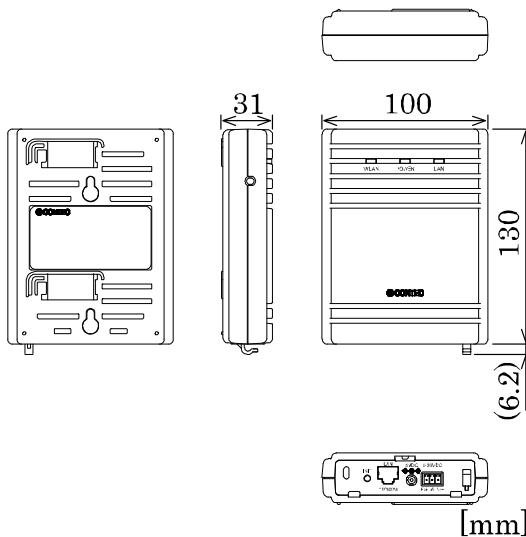
- 本体(FXA2000)…1
- セットアップガイド…1
- マグネット…2
- 添付ネジ…2
- コネクタカバー(本体に取り付け済み)…1

オプション

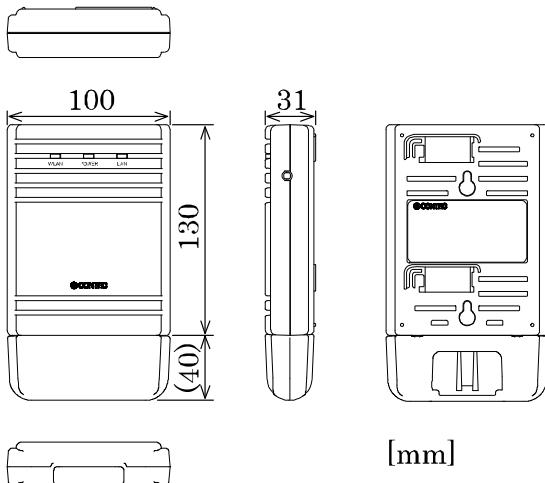
- ACアダプタ： FX-AC052
 - 取付ブラケット： FX-BRA20
 - PoE給電ユニット： POW-CB50AF
- ※詳細は、当社ホームページでご確認ください。

外形寸法図

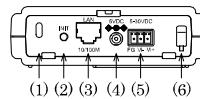
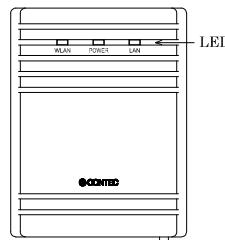
■外形寸法図(本体のみ)



■外形寸法図(コネクタカバー装着)



各部の名称

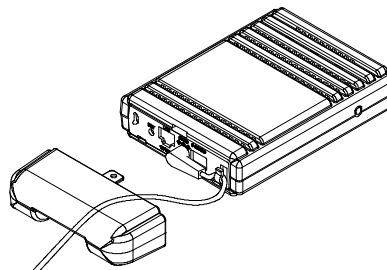


(1)	セキュリティスロット	(2)	INITボタン
(3)	LANポート	(4)	DCジャック
(5)	電源コネクタ	(6)	電源抜け防止フック

電源供給

■オプション ACアダプタ(FX-AC052)を使用する場合

コネクタカバーの開口部よりDCプラグを通して、ACアダプタのDCプラグを本製品のDCジャックに接続してください。コネクタ部に設けた電源抜け防止フックに引っ掛けることにより、DCプラグの抜けを防止することができます。



▼注意

ACアダプタで電源供給する場合は、PoEおよび電源コネクタからの電源供給との併用はしないでください。

■電源コネクタから電源供給する場合

電源コネクタを使用して、外部から電源供給できます。電源ケーブルは、下記に示す部品および相当品をご使用ください。

機能			
電源コネクタ：MC1,5/3-ST-3,5(PHOENIX CONTACT)、 対応ケーブル：AWG28-16(ケーブル長は電源仕様を満たしていることが条件)			
ピン番号	信号名	意味	5-30VDC
1	Vi+	電源(5-30VDC±5%)	
2	Vi-	電源(GND)	
3	FG	フレームグランド	

▼注意

- ・ 電源ケーブルは間違いないように作成してください。特にハウジングのピン番号を間違えて使用すると、機器故障や事故の原因となる恐れがあります。
- ・ 入力電圧範囲：5 - 30VDC±5%、10ms以内に4.75VDC以上の入力電圧範囲内で立ち上がる電源を使用してください。それ以外での電源供給では、機器の故障や事故の原因となる恐れがあります。
- ・ 電源コネクタで電源供給する場合は、PoEおよびACアダプタからの電源供給との併用はしないでください。

